

平成29年度行政事業レビューシート (厚生労働省)									
事業名	沖縄早期離職者定着支援事業			担当部局庁	職業安定局			作成責任者	
事業開始年度	平成20年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	地域雇用対策室			地域雇用対策室長 渡辺 正道	
会計区分	労働保険特別会計雇用勘定								
根拠法令 (具体的な条項も記載)	雇用保険法第62条第1項第6号 雇用保険法施行規則第115条第5号			関係する計画、通知等	「沖縄早期離職者定着支援事業の実施について」(平成20年4月1日付け触発第0401016号)				
主要政策・施策	-			主要経費	社会保障				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	沖縄県における若年者の高失業率を改善するために、企業経営者等の雇用する側に、若年者の職場定着のための取組の重要性とその効果を伝え、沖縄県内の若年者の職場定着の促進を図る。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	沖縄県内で特に若年者の離職率が高く、職場定着に課題を有する業種の業界団体等を対象に、若年者の職場定着に有効な仕組み(業界内の資格制度やメンター制度、人事評価制度等)の導入、定着させることを内容とするセミナーやコンサルティング等のサポート業務について、ノウハウを有する民間企業に委託する。								
実施方法	委託・請負								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
		計	17	17	17	17	17	0	
	執行額	16	14	11					
	執行率(%)	94%	82%	65%					
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	94%	82%	65%						
平成29-30年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由					
	地域雇用機会創出事業等委託費	16							
	職員旅費	1							
	諸謝金	0							
	委員等旅費	0							
	計	17	0						
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 29 年度
	メンター制度導入事業所数及び人事労務管理制度導入事業所数が15件以上	メンター制度導入事業所数及び人事労務管理制度導入事業所数	成果実績	%	84	84	16	-	-
			目標値	%	80	80	15	-	15
			達成度	%	105	105	107	-	-
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	厚生労働省職業安定局調べ								
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 29 年度
	メンター制度導入事業所数及び人事労務管理制度導入業界団体数が3件以上	メンター制度導入事業所数及び人事労務管理制度導入業界団体数	成果実績	%	-	-	5	-	-
			目標値	%	-	-	3	-	3
			達成度	%	-	-	167	-	-
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	厚生労働省職業安定局調べ								

活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標		単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込		
		活動実績	当初見込み								
セミナー参加事業所数		活動実績	人	560	476	236	-	-			
		当初見込み	人	620	620	130	220	-			
セミナー参加業界団体数		活動実績	人	-	-	21	-	-			
		当初見込み	人	-	-	10	13	-			
単位当たりコスト		算出根拠		単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込			
		X: 執行額(円) / Y: セミナー参加事業所・業界団体数(者)						円	28,157.1	30,630.3	42,540.9
				計算式	X/Y	15,768,000円 / 560件	14,580,000円 / 476件	10,933,000円 / 257件	16,304,000円 / 233件		
政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	雇用機会を創出するとともに雇用の安定を図ること(IV-2)									
		施策	地域、中小企業、産業の特性に応じ、雇用の創出及び雇用の安定を図ること(IV-2-1)								
	測定指標		定量的指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標		目標年度
				-					-	-	-
		実績値		-	-	-	-	-	-		
	目標値		-	-	-	-	-	-			
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係										
	沖縄早期離職者定着支援事業の実施により、沖縄県内の若年者の職場定着が図られることから、施策目標の達成に寄与するものと考えられる。										
	改革項目 (第一階層)	分野:	-								
		KPI (第一階層)		単位	計画開始時	28年度	29年度	中間目標		目標最終年度	
		-	-		-			-			
成果実績		-	-	-	-	-	-				
目標値		-	-	-	-	-	-				
達成度		%	-	-	-	-	-				
改革項目 (第二階層)		KPI (第二階層)		単位	計画開始時	28年度	29年度	中間目標		目標最終年度	
			-		-			-	-		
	成果実績		-	-	-	-	-				
	目標値		-	-	-	-	-				
達成度		%	-	-	-	-					

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	沖縄県内の若年者を中心とする雇用情勢の改善のため、若年者の早期離職防止、職場定着の取組の重要性の周知及び効果的な制度の導入を支援する事業であり、地域雇用対策として国費を投じて実施すべき事業である。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	沖縄県における雇用情勢の改善のため、地域雇用対策として国が実施すべき事業である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	成果実績は雇用保険二事業における指標と位置づけられており、優先度の高い事業となっている。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	一般競争入札により受託者を選定。(平成24年度から)
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	受益者である事業主の負担を考慮した必要経費の支給となっており、水準は妥当である。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	若年者の早期離職防止、職場定着のための取組の重要性とその効果の周知及び人事労務管理制度等の導入支援に資するものである。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	△	一般競争入札により委託費に要する額が想定よりも少なかったこと等のため。
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-		
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	27年度までは個々の事業所に対して支援を実施していたが、28年度から事業の支援対象者を事業所だけでなく、業界団体を加え、業界団体から参加会員事業所への波及効果を狙って、効率的に事業を実施。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	アウトカムについては成果目標を上回った。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	事業の達成度及び活動実績については、目標に応じた適切なものである。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	△	活動実績が当初見込みの約95%であった。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-
	所管府省名	事業番号	事業名
	厚生労働省	0519	人材不足分野における人材確保のための雇用管理改善促進事業等
点検・改善結果	点検結果	アウトカム・アウトプットが目標値を達成しており、適正な事業執行が行われている。一般競争入札により委託費に要する額が想定よりも少なかったこと等のため不用が生じた。	
	改善の方向性	原則として四半期ごとに実施状況を確認し、状況に応じ都度さらなる確認を行った。受託者へのヒアリング等を実施することにより課題を抽出し、予算の見直しを検討する。	
外部有識者の所見			
点検対象外			
行政事業レビュー推進チームの所見			

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

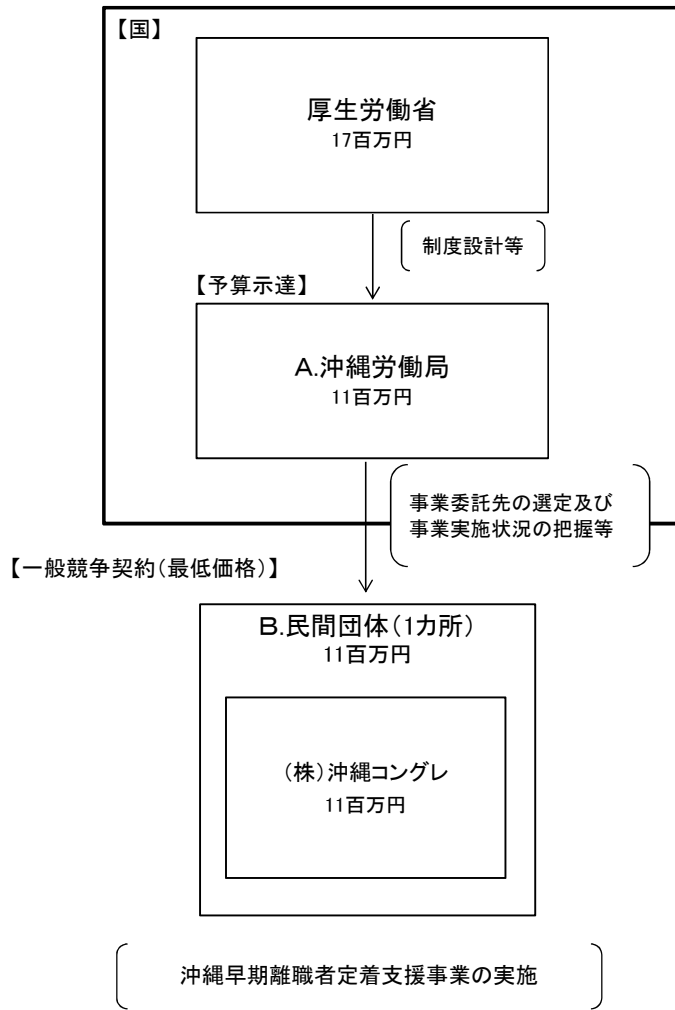
備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	719	平成23年度	654	平成24年度	578	
平成25年度	491	平成26年度	494	平成27年度	506	
平成28年度	505					

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位: 百万円)



費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A. 沖縄労働局			B. 株式会社沖縄コングレ		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	事業費	沖縄早期離職者定着支援事業の実施に必要な経費	11	管理費	人件費等	5
			事業費	会場借料、講師謝金、リーフレット作成、アンケート調査等	5	
			消費税		1	
計		11	計		11	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	沖縄労働局	-	沖縄早期離職者定着支援事業の実施に必要な経費	11		-	-	

B.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社沖縄コングレ	9360001011530	沖縄早期離職者定着支援事業の実施	11	一般競争契約 (最低価格)	3	66.6%	-

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック名	契約先	法人番号	業務概要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1	-		-	-	-		-	-	